

「ラグビーワールドカップ2019 インバウンドの裾野を広げるチャンス!」 ～外国人目線で見た愛知の魅力とPRすべきポイント～

- 日時 2019年6月20日（木）14：00～16：35
- 会場 栄ガスビル5Fキングルーム(名古屋市中区栄3-15-33)
- 主催 中部圏インバウンドセールスプロジェクト(CISP)
- 後援 公益社団法人日本観光振興協会中部支部 / 株式会社JTB / 株式会社名古屋銀行

6月20日（木）RWCフォーラムを開催しました。
おかげ様で成功裏に終了することができました。
当日は行政、ホテル、観光等の各種業界から約90名がご来場くださいました。
お忙しいところご出席くださいました皆様、深く御礼申し上げます。

第1部の講演では公益財団法人ラグビーワールドカップ2019組織委員会
愛知・豊田地域支部長 杉山 直樹氏に「RWC2019」の概要、スタジアムの改修、
チケットの販売等の準備状況、国内外から観客をこの地域に迎えるにあたって、
地域を挙げて取り組んでいただきたいことについてご講演いただきました。
「RWC2019で地域の魅力をPRすることで、経済の活性化が期待できる」と訴えました。
RWC開催期間に、多くの観客が県内で宿泊することが見込まれます。
観光業や飲食業者は、このチャンスを生かせるようおもてなしを工夫してほしいと述べました。

第1部講演について、「RWCの再認識と進捗状況の確認ができた」
「開催について詳しく知ることができた」「情報収集ができた」
「地元がすべきことを具体的に聞いた」等の感想をいただきました。

第2部のパネルディスカッションでは、オーストラリア人のインバウンド観光アドバイザーでラジオDJのクリス・グレン氏が、情報発信の重要性について語られました。観光施設に歴史等をつなげたストーリー作りと併せて、観光施設を整備する必要があると話しました。

スペイン人ブロガーのエリサベス・ヨピス氏は、「KAWAII」言葉に「BEAUTIFUL Cities」「DELICIOUS Food」「UNIQUE Culture」「RICH History」の四つの意味を持っていると話し、地元の方々はこの観点で改めてこの地域の魅力を再発見しようと訴えました。フランス人で愛知 Lover のジュリ・ボーは、フランス人が質問が大好き、詳細内容が知りたがる等の特徴を紹介しました。

最後に、株式会社JTB 加藤照康氏は、FIT客を中心としたサポーターは、チケットと宿泊のみを決めていて、観光については、NO PLANと紹介。ラグビーW杯まで100日を切りましたが、事業者さんは、今から受け入れ体制を充実させて、WEBやSNSを利用して積極的に情報発信することが不可欠と訴えました。

第2部パネルディスカッションについて、「日本在住の外国人の方からの生の声を聴く機会がなかったので、非常に貴重な意見が聞けてよかった」「国ごとの傾向、具体的な商品イメージを知ることができてよかった」「観光に携わる者としてストーリーの大切さを知ることができて満足」等のご感想をいただきました。

第1部. 講演 14:00~14:40

公益財団法人ラグビーワールドカップ2019組織委員会
愛知・豊田地域支部長 杉山 直樹氏



第2部. 名古屋在住の外国人によるパネルディスカッション 14:50~16:00

①パネルディスカッション 「外国人の私たちにとっての愛知の面白いところ、PR不足なところ」

パネリスト

- クリス・グレン氏 オーストラリア人。訪日観光アドバイザー、ラジオDJ、パスト・プレゼント・フューチャー代表取締役
- エリサベス・ヨピス氏 スペイン人。「Kawaii Aichi」と名づけたブログで愛知の魅力を発信中！ Ellp Creative CEO
- ジュリ・ボー フランス人。愛知Lover。中部圏インバウンドセールスプロジェクト事務局スタッフ
コーディネーター
- 赤崎真紀子 中部圏インバウンドセールスプロジェクト事務局長





②まとめと提案 「RWCは愛知のインバウンドの裾野を広げるチャンス!」 16:00～16:25

株式会社JTB名古屋事業部 訪日インバウンド誘客担当
加藤 照康氏



✖️ ✖️

閉会挨拶 16:25～16:35

中部圏インバウンドセールスプロジェクト 会長 大澤 和宏



会場の発言



第3部 交流会 17:00～19:00

会場：ほっこり 栄本店 名古屋市中区栄3-7-29 岡地ビルB1F



！ END ！